



XC 90

TWIN ENGINE

QUICK GUIDE

VÄLKOMMEN!

本書(クイックガイド)には、ボルボ車に搭載されているさまざまな機能の概略が記載されています。各機能の詳しい情報は、センターディスプレイ、アプリおよびウェブで利用できるオーナーズマニュアルに収録されています。



車両のセンターディスプレイ

オーナーズマニュアルはセンターディスプレイのトップビューから利用できます。



モバイルアプリ

オーナーズマニュアルはスマートフォンおよびタブレット用アプリ (Volvo Manual) の形で用意されています。このアプリには一部の機能のビデオチュートリアルも収録されています。



ボルボのサポートサイト

ボルボ・カーズサポートサイト (support.volvocars.com) では、マニュアルやビデオチュートリアルをはじめ、ボルボ車および車両の保有に関して役立つ情報をご提供しています。



印刷版のマニュアル

グローブボックスには、仕様およびヒューズに関する情報を収録した SUPPLEMENT TO THE OWNER'S MANUAL (オーナーズマニュアル付録冊子) が収録されています。この付録冊子には、重要情報や実用的な情報もまとめられています。印刷版のオーナーズマニュアルおよび関連付録は別途注文することができます。

内容

01. ボルボ車を理解する

ボルボ車の取り扱いに際して最初に知っておくべき情報が記載されており、インテリア/エクステリアについて、およびセンターディスプレイの概要を把握することができます。

02. 充電

車両の充電状態、充電ユニットの操作方法、ドライバーディスプレイに表示されるシンボルの説明が記載されています。

03. インテリアおよび接続部

シート設定、ステアリングリモコンおよびレバー、車内エアコンディショナー、インターネット接続、Bluetooth 接続などに関する情報が記載されています。

04. センターディスプレイのビュー

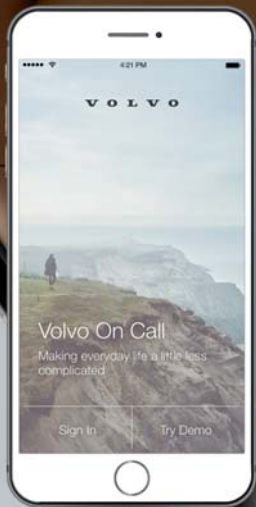
センターディスプレイのさまざまなメインビューに関する情報が記載されています。メインビューを使用すると、車両の多くの機能を操作できます。

05. スマートドライビング

車両に搭載されているさまざまな運転支援機能と、さらにクリーンな運転を楽しむためのいくつかのヒントが記載されています。

06. 特別なメッセージ

必ずお読みいただく必要のある警告、重要情報、注意事項



はじめに

ボルボ車を最良の方法で使い始めるために、知っておくと便利な機能、用語およびヒントがいくつかあります。

Volvo ID

Volvo ID はオンラインでさまざまなサービスを利用するときに使用する個人用 ID です¹。My Volvo（お客様とお様の車両のパーソナルウェブ 사이트）、地図サービス、コネクテッド・サービス予約オプションなどがその例です。Volvo ID は、My Volvo で作成する方法と車両で直接作成する方法があります。

Sensus

Sensus は車両の知的インターフェースで、エンターテインメント、インターネット接続、ナビゲーション*および情報サービスに関連する車載ソリューションがすべて組み込まれています。お客様と車両と外部の世界をつなぎ、コミュニケーションを可能にするのが Sensus です。

運転者プロフィール

車内で行う多くの設定は運転者の好みに応じて調整することができ、運転者プロフィール(複数可)に保存することができます。各キーは1つの運転者プロフィールに関連付けることができます。

運転者プロフィールを有効にして設定するには、センターディスプレイのトップビューで **設定** → **システム** → **ドライバープロフィール** の順に選択します。

走行前のプリコンディショニング


出発前に必ず車両のプリコンディショニングを行う習慣を付けてください。プリコンディショニングを行うと、車内が快適な温度になると同時に、走行可能な距離が伸び、車両の損耗が低減することになります。センターディスプレイのクライメートビューで **駐車温度調整** タブを選択します。

¹ サービスの種類は車両の構成および市場により異なります。



エクステリア概要

- 1 エンジンオイルレベルおよびタイヤ空気圧の点検**は、センターディスプレイのアプリビューで **車両の状態** アプリから行われます。ここでは、ステータスメッセージおよびコネクテッド・サービス予約*を確認することもできます。
- 2 ハイブリッド充電**はフロントハッチの奥で行われます。軽く押すと、ハッチが開きます。走行可能な距離を最大限に伸ばすために、バッテリーが完全に充電された状態で走行を開始してください。
- 3 ドアミラー**は、リバースギヤを選択したときに自動的に*下向きに傾き、駐車するときなどに道路の端を見えやすくします。ドアミラーは車両のロック時/ロック解除時に自動的に格納/展開します。
- 4 キーレスロック/ロック解除***では、リモートコントロールキーをポケットなどに入れて携帯しているだけで、車両のロックやロック解除を行うことができます。リモートコントロールキーは車両から約1 mの範囲内にある必要があります。





ドアハンドルをつかむか、テールゲートのラバー加工されたプレキシャープレートを押して、車両をロック解除します。車両をロックするときには、いずれかのドアハンドルの感応式ロックスイッチを軽く押します。両方の感圧面に同時に触れないようにしてください。
- 5 パノラマルーフ***は2つのガラスセクションに分かれています。フロントセクションは後端部が垂直方向に開きます。パノラマルーフおよびブラインドの操作には、ヘッドライニングに装備されているコントロールボタンを使用します。
- 6 パワーテールゲート***は、テールゲートのハンドル操作、またはリアバンパーの左下で前方にゆっくりキックをするような動作*で開けることができます。テールゲートの下端にある  を使用すると、テールゲートを閉じてロックすることができます。キックをするような動作でテールゲートを閉じることもできます。

ガレージでテールゲートが天井に当たることなどを防止するために、最高位置を設定することができます。



ロック/ロック解除

リモートコントロールキー

-  1 回短く押すと、ドアおよびテールゲートがロックされ、アラーム*が設定されます。長押しをすると、パノラマルーフ*とすべてのパワーウインドが同時に閉まります。
-  1 回短く押すと、ドアおよびテールゲートがロック解除され、アラームが解除されます。長押しすると、すべてのパワーウインドが同時に開きます。
-  1 回短く押すと、テールゲートのみのロックとアラームが解除されます。長押しすると、パワーテールゲート*が開閉します。
-  パニック機能は方向指示器およびホーンを作動させて、必要時に注意を引き付けます。3 秒間長押しすると、作動します。

充電ハッチ

充電ケーブルを接続する/抜く前に、車両がロック解除されていることを確認してください。

1. カバー後部を押し込んでから放します。
2. ハッチを開けます。
3. 充電ポートのカバーを引いて外し、カバーの内側のホルダーに固定します。

充電が始まると、ケーブルはソケットにロックされます。車両のエンジンがかかっているときにケーブルを差し込むことはできません。

プライベートロック



プライベートロックはテールゲートおよびグローブボックスをロックする機能で、車両を点検整備で預けるときなどに役立ちます。

— センターディスプレイの機能ビューで **プライベートロック** をタップすると、機能がオン/オフになります。

オンまたはオフにするためのポップアップウィンドウが表示されます。ロックを使用するたびに、4桁のコードが選択されます。初めて機能を使用する際は、追加のセキュリティコードを選択する必要があります。



3

2

1

7

8

4

5

6

インテリア概要

- ① **センターディスプレイ**は、車両の主要機能(エアコンディショナー、運転者サポートシステム、車載アプリなど)の多くの操作に使用されます。
- ② **ドライバーディスプレイ**には、速度、エンジン回転数、ナビゲーション*、アクティブ運転者サポートなど運転に関連する情報のほとんどが表示されます。ドライバーディスプレイに表示される情報は、運転者自身がセンターディスプレイのトップビューで **設定 → My Car → メーター** から選択できます。
- ③ **ヘッドアップディスプレイ***は車両のドライバーディスプレイを補充し、ウィンドスクリーンに情報を映します。ヘッドアップディスプレイを起動するには、センターディスプレイの機能ビューを使用します。
- ④ **車両を始動する**には、中央(左右のシートの間)にあるスタートノブを使用します。ギヤポジション **P** または **N** を選択します。スタートノブを回して手を離すとイグニッション位置 **I** になります。ブレーキペダルを踏み込み、そのままの状態スタートノブを回すと車両が始動します。**P** または **N** にして、スタートノブを **STOP** まで回すと車両がオフになります。
- ⑤ **ドライブモード**は、中央(左右のシートの間)にあるコントロールを使用して設定します。コントロールを押して、センターディスプレイで **Pure、Off Road、AWD、Hybrid、Power、Individual** のいずれかを選択します。ホイールを押して確定します。**Individual** を使用すると、好みの走行特性に応じてドライブモードを調節することができます。オンにするには、センターディスプレイのトップビューで **設定 → My Car** の順に選択します。
- ⑥ **パーキングブレーキ**は、**(P)** コントロールを引き上げたときに作動します。作動に伴ってドライバーディスプレイのシンボルが点灯します。手動で解除するには、ブレーキペダルを踏み込んだ状態でコントロールを押し下げます。Auto Hold **(Ⓔ)**を使用すると、赤信号などで

停車したときに制動力を維持したままブレーキペダルから足を離すことができます。

自動洗車機を使用するときには、必ず **Auto Hold** および **パーキングブレーキを自動で有効化** を両方とも解除する必要があります。この設定は、センターディスプレイのトップビューで **設定 → My Car → 電動パーキングブレーキ** の順に選択して行います。次に、ギヤポジション **N** を選択し、スタートノブを **STOP** まで回して4秒以上保持します。

- ⑦ **助手席側エアバッグのスイッチ***は、助手席側のダッシュボードの端にあり、助手席ドアを開けて操作します。助手席側エアバッグ機能をオン/オフにするには、スイッチを外側に引き出して **ON/OFF** に回します。
- ⑧ **グローブボックス**は **(P)** ボタンを使用して開けます。

3G 13:45

ナビゲーション
Änäsvägen

メディア - USB
Lune
Leave The World Behind
01:21 03:56

電話
Telenor
Daniel's Phone

燃費
10.1 km/l

22°C 22°C

センターディスプレイ

センターディスプレイでは、設定とほとんどの機能の操作を行うことができます。センターディスプレイには、ホームビュー、機能ビュー、アプリビューの3つのメインビューがあり、右/左にスワイプするとビューを切り替えることができます。さらに、ディスプレイの上部を下方方向にドラッグすることでアクセスできるトップビューもあります。

センターディスプレイの外観を変更するには、トップビューの **設定 → My Car → メーター** でテーマを選択します。ここでは、背景の明るさを選択することもできます。

メニューを戻るには、ディスプレイの下にあるホームボタンを短く押しします。長押しすると、ホームビューに移動します。

センターディスプレイを清掃するときには、ディスプレイの下にあるホームボタンを長押ししてタッチ機能をロックしてください。ホームボタンを短く押しすと、ディスプレイは再度有効になります。

ステータスバーはディスプレイの上部にあり、車内のアクティビティを表示します。ネットワーク情報および接続情報が左側に、メディア関連情報と時計が右側に表示されます。

クライメート列は画面の下部にあり、対応するアイコンをタップすることにより、温度、シートコンフォートおよびファン速度を設定できます。



充電

お客様のボルボ車には、主に低速走行時に車両を駆動する電気モーターと、高速走行やアクティブな運転のときに車両を駆動するガソリンエンジンが搭載されています。ハイブリッドバッテリーの充電時間は、電源コンセントから供給できる充電電流によって異なります。ハイブリッドバッテリーは、下り坂などでのエンジンブレーキやスムーズな制動時にも充電されます。どのようなタイプの充電もドライバーディスプレイに表示されます。

充電ケーブルの保管

充電ケーブルは、カーゴスペースのフロアハッチの下にあります。

充電ケーブルのコントロールボックス


付属の充電ケーブルには、充電状態を表示するコントロールボックスが装備されています。コントロールボックスは温度監視に対応し、漏電遮断器が内蔵されています。

充電の開始

ハイブリッドバッテリーの充電時には、車両のメインバッテリーも充電されます。

1. 充電ケーブルを電源コンセントに接続します。絶対に延長ケーブルを使用しないでください。
2. ▲ および ▼ を使用して、コントロールボックスで適切な充電電流を設定します。コンセントの定格充電電流が不明な場合、コントロールボックスで最低充電電流を選択してください。
3. 充電ハンドルの保護カバーと車両の接続ハンドルを取り外します。充電ケーブルが充電ポートに自動的にロックされ、5秒以内に充電が開始されます。

充電の完了

1. リモートコントロールキーの  ボタンで車両のロックを解除します。充電が完了し、充電ケーブルのロックが解除されます。
2. 車両から充電ケーブルを外します。
3. 充電ポート用の保護カバーを再度取り付け、ハッチを閉めます。

4. コンセントから充電ケーブルを外します。
5. 充電ケーブルをカーゴスペース内の元の場所(フロアハッチの下)に戻します。

充電の確認

充電モジュールのインジケータランプを使用する

充電ケーブルを 200V 電源コンセントに接続すると、まず充電モジュール（壁のコンセントに接続されたユニット）のインジケータランプ（赤色）が数回点滅します。セーフティチェックが行われます。充電ケーブルが使用可能になると、インジケータランプ（緑色）が点灯します。

充電ポートのランプを使用する

車両の充電ポートのランプが充電状態を示します。

- 白：LED ランプ
- 黄色：スタンバイモード
- 間隔の短い点滅（緑色）：低残量バッテリーの充電中
- 間隔の長い点滅（緑色）：充電状態のよいバッテリーの充電中
- 点灯（緑色）：充電完了。しばらくすると消灯します。
- 点灯（赤色）：エラー発生

充電状態は、ドライバーディスプレイにも表示することができます。

ドライバーディスプレイに表示されるハイブリッド情報

ドライバーディスプレイには、選択されているドライブモードに応じて、さまざまなシンボルおよびアニメーションが表示されます。

電気およびガソリンの消費は右側のゲージに表示されます。消費量は運転スタイルにより異なります。細い白色のポインターが上部の白矢印を通過すると、ガソリン消費に切り替わります。ポインターがオレンジ色の範囲に入っている場合、バッテリーは充電中です(制動時など)。

バッテリー走行可能距離

→ 電気およびガソリン消費ゲージの下の左側には、現在のバッテリー走行可能距離が表示されます。

このゲージは、現在のエネルギー残量で走行可能な概算距離を示します。この距離はいくつかの要因(外気温や速度など)の影響を受けるため、走行中に変化することがあります。ドライバーディスプレイに「--」と表示されるときは、保証できる走行可能な距離が残っていないことを表します。

ドライバーディスプレイに表示されるシンボル

- ⚡ 白一色のシンボルは電気モーターまたはエンジンのいずれかが使用中であることを示しています。稲妻は電気モーターを、水滴はガソリンエンジンを示しています。
- 🔋 エンジンブレーキの作動時などにバッテリーが充電中であることを示しています。
- 🔋 電気モーターのバッテリーに蓄えられている現在のエネルギー量を示しています。エネルギーはエアコンディショナーにも使用されません。
- 🔋 充電 または **ホールド** 機能がオンになっていることを示しています。これらの機能はセンターディスプレイの機能ビューでオンにします。**充電** では、充電残量が少なくなるとハイブリッドバッテリーが充電されます。**ホールド** では、後で電気エネルギーを使用できるようにバッテリーの充電残量が維持されます。





1. コントロールを回すと、センターディスプレイのシート設定が起動します。
2. マルチファンクションコントロールを回して、センターディスプレイで目的の機能を選択します。
3. マルチファンクションコントロールの上/下/前/後部を押し込んで、設定を変更します。

設定の保存

1. シート、ドアミラー、ヘッドアップディスプレイ*をお好みの位置に設定して、**M** ボタンを押します。ボタンの表示灯が点灯します。
2. 3秒以内にメモリーボタン **1**、**2** または **3** を押します。確認音が鳴り、**M** ボタンの表示灯が消灯します。

保存したシート設定を使用するには、選択したメモリーボタンを押します。

フロントパワーシート*

シート位置やランバーサポート*などの調節には、シートの外側にあるコントロールを使用します。シート位置の変化が把握しやすいように一方のコントロールはシートのような形になっています。もう一方のコントロールはランバーサポート、マッサージ*などの調節に使用します。

シート形コントロール

シートクッションの調節またはシート全体の移動には、下側のコントロールボタンを使用します。バックレストの角度調節には、リアコントロールボタンを使用します。

マルチファンクションコントロール

マッサージ*、サイドサポート*、ランバーサポート*、シートクッションエクステンションの設定は、マルチファンクションコントロール*とリンクしています。

リアシートのバックレストを倒す

リアシートのバックレストを倒す前に、場合によっては、フロントおよびリアシートを調節する必要があります。

2列目のセンターシート

1. バックレストとヘッドレストの間にあるボタンを押して、手でヘッドレストを倒します。同時に、ヘッドレストを押し下げます。
2. センターシートのベルト **1** を前方に引き上げながら、シートを折りたたみます。

2列目のドア側シート

- ドア側シートの側面にあるハンドル **2** を引き上げて、シートを倒します。ヘッドレストは自動的に折りたたまれます。

3列目シート*

- バックレストの上部にあるハンドルを前方に引き上げます。バックレストを前方に折りたたみます。ヘッドレストは自動的に折りたたまれます。
- 2列目シートを持ち上げながら、ベルト/ハンドルを前方に引き上げる必要があります。インヒビターがロックされるまでバックレストを起こしません。ヘッドレストは手で起こします。
- 3列目シートに乗り込む場合、中央列のシート **3** の上部にあるハンドルを前方に引き上げます。バックレストを倒して、シート全体を前方にスライドさせます。







ステアリングホイール

ステアリングホイールの下にあるレバーを手前に引く/奥に押し²と、ステアリングホイールの高さや前後位置を調節することができます。好みの位置に調節して、レバーを元のロック位置に戻してください。

左側のステアリングリモコン

ドライバーディスプレイで運転者サポートを選択するには、ステアリングホイール左側のステアリングリモコンの矢印を使用します。シンボルが白色の場合は、機能がオンになっています。灰色は機能がオフまたはスタンバイモードであることを意味します。

ディスプレイシンボルの意味：

-  速度リミッター*
-  クルーズコントロール

² 市場により異なります。

 アダプティブクルーズコントロール*


 Pilot Assist*

 を押すと、選択した機能が起動または停止します。


○+ / — を短く押すと、設定速度が 5 km/h 単位で増加/減少し、長押しすると、1 km/h 単位で増加/減少します。= / ≡ は、アダプティブクルーズコントロールおよび Pilot Assist の使用中に先行車との距離を短く/長くします。選択した機能を設定速度に戻すときも、○+ を 1 回押しします。

右側のステアリングリモコン



ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用すると、ドライバーディスプレイを操作することができます。

 ドライバーディスプレイのアプリメニューを開いたり閉じたりできます。ここから、トリップコンピューター、メディアプレーヤー、電話、ナビゲーションを操作することができます。

 左右の矢印を押して、使用可能なさまざまなアプリ間を移動します。

 オプションを選択、選択解除または確定します(トリップコンピューターのメニューの選択、またはドライバーディスプレイのメッセージの選択解除など)。

 上または下を押して、選択したアプリの機能間を移動します。

メディア音量を上げる/下げるには、 および  を押します。他に作動している機能がない場合、これらのボタンは音量コントロールの役割を果たします。

音声認識をオンにするには、 ボタンを使用します。これにより、メディア、ナビゲーションおよびエアコンディショナーなどを音声で操作できるようになります。例えば、「**Avicii の再生**」、「**温度を上げる**」、「**ヘルプ**」、「**繰り返す**」または「**キャンセル**」と発声してください。

音声認識の詳細および音声コマンドの例については、オーナーズマニュアルを参照してください。

トリップコンピューター

トリップコンピューターは、走行距離、燃費、平均速度などを計算します。ドライバーディスプレイに表示するトリップコンピューターからの情報を、選択することができます。トリップコンピューターは走行可能な距離を計算します。さまざまなオプションを表示するには、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用してください。ドライバーディスプレイに「----」と表示されるときは、保証できる走行可能な距離が残っていないことを表します。




トリップメーターのリセット

手動トリップメーター(TM)は、左側レバースイッチの **RESET** ボタンを長押しすることにより手動でリセットすることができます。自動トリップメーター(TA)は、車両を使用しない状態が4時間続くと、自動的にリセットされます。

左側レバースイッチ

ヘッドライト機能の操作には左側レバーを使用します。

AUTO モードを使用すると、車両は車外の明暗を検知し、状況に応じて照明を調整します(日没後やトンネルに入ったときなど)。レバースイッチのコントロールダイヤルを  にすると、対向車を検知して自動的に減光されるハイビームを使用することもできます。ハイビームを手動でオンにするには、レバースイッチを奥の方へ動かします。レバースイッチを手前に動かすと、オフになります。


アクティブベンディングランプ*は、ライトがステアリングホイールの動きに追従することによりカーブや交差点で十分な明るさを確保できるように設計されています。この機能は車両を始動すると自動的に起動しますが、センターディスプレイの機能ビューでオフにすることもできます。

アプローチライト*は、キーを使用して車両をロック解除したときに車外のライトを点灯させて、暗闇でも安全に車両に近づけるようにします。


右側レバースイッチ


ワイパーブレードおよびレインセンサーの操作には右側レバーを使用します。

- ワイパーを1回だけ作動させるときは、レバーを下側に動かします。
- レバーを上側に段階的に動かすと、作動速度が間欠、通常、高速の順に切り替わります。
- 間欠速度の調節には、レバースイッチのコントロールダイヤルを使用します。
- レバースイッチをステアリングホイールの方向に動かすとウインドスクリーンウォッシャーおよびヘッドライトウォッシャーが作動し、メーター・パネルの方向に動かすとリアウインドウォッシャーが作動します。

 レインセンサーボタンを押してレインセンサーをオン/オフにします。レインセンサーはウインドスクリーンに付着した水滴の量を感じて、フロントワイパーを自動的に作動・停止させます。レバースイッチのコントロールダイヤルを上下に回し、感度を調節します。

 リアウインドワイパーを間欠作動させるときに押します。

 リアウインドワイパーを連続作動させるときに押します。

 ワイパーブレードの交換、清掃または持ち上げ時などには、ウインドスクリーンワイパーのサービスポジションを使用します。サービスポジションを起動するには、センターディスプレイの機能ビューを使用します。





車内エアコンディショナー

プリコンディショニング

プリコンディショニングは車両のセンターディスプレイを使用して設定できます。プリコンディショニングは、運転前に車内を快適な温度に冷房または暖房します。これにより、走行中のエネルギー必要量が減るとともに、損耗も低減されます。プリコンディショニングは直接作動させる方法とタイマー設定で作動させる方法があります。

プリコンディショニングの直接作動

1. ディスプレイの下部をタップして、センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **駐車温度調整** タブを選択し、適切なオプションにチェックを付けて、**プリセット** をタップします。

プリコンディショニングのタイマー設定

- **駐車温度調整 → タイマーを追加** を選択し、必要に応じて日付/曜日を設定します。

プリコンディショニングの機能を最大限に発揮させるためには、車両を電源コンセントに接続しておく必要があります(電気ヒーター装備車に適用されます)。使用されるヒーターの種類(フューエルドリブンヒーターまたは電気ヒーター³⁾)は市場により異なります。

空気清浄システム IAQS*

IAQS は、Clean Zone Interior Package*の一部で、車内の空気から粒子状物質、炭化水素、窒素酸化物、地表オゾンなどの有害物質を除去する全自動システムです。機能をオンにするには、センターディスプレイのトップビューで **設定 → 温度調整 → 空気清浄度センサー** の順に選択します。

エアコンディショナー設定

車内の前部および後部のエアコンディショナー機能は、センターディスプレイ、センターコンソールのボタン、トンネルコンソールの後部で操作します。エアコンディショナー機能の中には、音声認識で操作できるものもあります。



クライメートビューへアクセスするためのアイコンは、ディスプレイの下中央にあります。Clean Zone の文字が青色で表示されている場合、車内の空気が良好な状態であることを示しています。

- **AUTO** をタップすると、目標温度に基づいて車内エアコンディショナーが全自動で調節されます。**AUTO** モードでは、ファンを5段階の自動ファン速度と **Off** および **Max** に設定することができます。
- センターディスプレイの下端にあるクライメート列でアイコンの1つをタップすると、温度、シートヒーターおよびファン速度を調節できます。

すべてのゾーンの温度を運転席側の温度と同期させるには、運転席側の温度アイコンと **温度同期** をタップします。

³ 市場と使用ヒーターの対応については、ボルボ指定のディーラーにお問い合わせください。

接続

スマートフォンなどさまざまな外部機器から、メディアやSMS/電話機能の（音声認識）操作をしたり、車両をインターネットに接続したりすることができます。接続している機器を使用するには、車両が**1**以上のイグニッション位置である必要があります。

Bluetooth 経由では、外部機器を車両に接続して、電話およびSMSの操作、メディアのストリーミング、車両のインターネット接続を行うことができます。Bluetooth 機器は同時に2台接続することができます。その場合、1台はメディアのストリーミングのみが可能です。

1. お使いの電話機で Bluetooth を有効にします。インターネットに接続するには、テザリングも有効にします。
2. センターディスプレイのホームビューで **電話** サブビューを開きます。**電話を追加** をタップします。すでに接続されている場合、**変更** をタップします。

3. 接続する電話機を選択して、ディスプレイおよび電話機の指示に従います。電話機によっては、メッセージ機能をオンにする必要があります。

Wi-Fi 経由では、車両をインターネットに接続して、車載アプリでインターネットラジオやミュージックサービスを利用したり、車内からディーラーに連絡したり、ソフトウェアをダウンロードしたりすることができます。

1. 携帯電話のテザリング機能をオンにします。
2. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
3. **通信** → **Wi-Fi** をタップし、Wi-Fi 接続のボックスにチェックを付けてオンにします。



カーモデム経由での接続⁴

1. パーソナル SIM カードをトランクルーム/カーゴスペースのホルダーに挿入します。
2. トップメニューで **設定 → 通信 → カーモデムインターネット** をタップします。
3. **カーモデムインターネット** のボックスにチェックを付けてオンにします。

テザリング


車両がインターネットに接続されているときに、トップメニューの **設定** でインターネット接続を他の機器と共有することができます (Wi-Fi ホットスポット)。**通信 → 車両 Wi-Fi ホットスポット** をタップします。

USB/AUX 経由 では、外部機器を接続してメディアを再生できます。電話機で USB テザリングをオンにすると、車両をインターネットに接続することもできます。USB ポートは Apple Car Play/Android Auto に使用することもできます。

1 USB および AUX 端子

- 2 **12V 電源ソケット**。トランクルーム/カーゴスペースにも 12V 電源ソケットが 1 つあります。

通話の操作⁵

Bluetooth 接続の電話機による電話の発着信は、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンおよびセンターディスプレイのホームビューの **電話** サブビューを使用して行うことができます。また、音声認識を使用して電話を操作することもできます。音声認識シンボル  を押して、「Call [contact]」(「連絡先」に電話する)などと発声してください。

メディアの再生

外部機器のオーディオを再生するには、選択した方法でその機器を車両に接続し、センターディスプレイのアプリビューで **Bluetooth**、**USB**、または **AUX** アプリ (接続方法により異なる) を開く必要があります。iPod の

オーディオを再生するには、接続方法に関わらず **iPod** アプリを選択します。

Apple CarPlay/Android Auto を使用すると、電話機の一部のアプリを車両経由で使用することができ、音楽を再生したり、ポッドキャストを聞いたりすることなどができます。操作には車両のセンターディスプレイまたは電話機を使用します。

iPhone を使用する場合、Apple CarPlay を使用する前に音声認識機能の Siri をオンにする必要があります。USB ポートに接続します。複数の USB ポートが装備されている場合、白フレームのポートを使用してください。オンにするには、アプリビューで **Apple CarPlay/Android Auto** をタップしてください。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの  ボタンを長押しすると、Apple CarPlay/Android Auto による音声認識がオンになります。短く押すと、車両独自の音声認識システムがオンになります。

Apple CarPlay の使用中、Bluetooth はオフになります。必要な場合、代わりの接続方法を使用してください。

⁴ Volvo On Call[®] 搭載車両のみ。カーモデムを使用して接続すると、Volvo On Call サービスはこの接続を使用します。

⁵ 車両に対応する携帯電話については、support.volvocars.com をご覧ください。

3G

13:45

1 ナビゲーション
Änåsvågen



2 メディア - USB
Lune
Leave The World Behind
01:21 03:56



3 電話
Telenor
Daniel's Phone

4 燃費
10.1 km/l

22°C




22°C

ホームビュー

センターディスプレイが起動すると、ホームビューが表示されます。ホームビューからは、ナビゲーション、メディア、電話、および最後に使用した車両機能のサブビューにアクセスできます。


- 1 **ナビゲーション** - ここをタップすると、Sensus Navigation*による地図ナビゲーションにアクセスできます。

住所で目的地を指定する -  をタップします。地図イメージが住所による検索に変わります。

地図で目的地を指定する -  で地図を最大化し、目的地を長押しします。

目的地を削除する - 目的地のアイコンをタップして、**削除** をタップします。

- 2 **メディア** - 外部機器からの音楽などが表示されます。アプリビューで **FM ラジオ** を選択した場合、こちらに表示されます。サブビューをタップすると、設定にアクセスできます。ここからは、音楽ライブラリ、インターネット対応ラジオ放送局などを表示できます。

- 3 **電話** - 電話機能へアクセスします。サブビューをタップすると拡大されます。ここでは、通話履歴または連絡先リストから電話をかけることなどができます。キーパッドを使用して番号を手で入力することもできます。番号の選択が完了したら、**発信** または  をタップします。

- 4 **最後に使用した車両機能** - ここでは、最後に使用した車両機能のうち、その他のサブビューのいずれにも表示されていないもの (**車両の状態**、**燃費** または **レン・キピング・エイト** など) を表示できます。サブビューをタップすると、最後に使用した機能にアクセスできます。

機能ビューとアプリビュー

機能ビュー

ホームビューを左から右⁶にスワイプすると、機能ビューに移動できます。ここからは、**ヘッドアップ ディスプレイ**、**パークアシスト** および **レーン・キープング・エイト** などさまざまな車両機能をオン/オフにすることができます。各シンボルをタップすると、オン/オフになります。一部の機能は、別のウィンドウで開きます。

ディスプレイの下にあるホームボタンを押すと、メニューに戻ることができます。

アプリビュー

ホームビューで右から左⁶にスワイプすると、アプリビューにアクセスできます。車両に付属のアプリや、運転者ご自身がダウンロードおよびインストールを選択できるアプリが表示されます。



アプリをダウンロード、アップデートまたはアンインストールするには、アプリビューで **ダウンロード センター** をタップします。この操作を行うには、車両がインターネットに接続されている必要があります。

ダウンロード - **新アプリ** をタップして、必要なアプリを選択します。**インストール** を選択して、アプリをダウンロードします。

アップデート - すべてのアプリをアップデートするには、**全てインストール** をタップします。**アプリケーション更新** を選択して、利用可能なアップデートのリストを表示します。必要なアプリを選択して、**インストール** をタップします。

アンインストール - **アプリケーション更新** をタップして、必要なアプリを選択します。**アンインストール** をタップして、アプリをアンインストールします。

システムソフトウェアの検索およびアップデート

- **システム更新** をタップして、利用可能なアップデートを表示します。
- すべてのソフトウェアをアップデートするには **全てインストール** を、ソフトウェアプログラムを個別にインストールするには **インストール** をタップします。

アイコンの移動 - アプリビューおよび機能ビューに表示されている車両機能用のアプリおよびボタンは、必要に応じて移動することができます。

1. アイコンを長押しします。
2. アイコンをビュー内の任意の空きスペースまでドラッグして放します。

⁶ 左ハンドル車の場合。右ハンドル車の場合は反対方向にスワイプします。



設定



オーナーズマニュアル



プロフィール



車両状態アプリに車両情報を保存しました



助手席

再起動



TuneInsをインストール中です



新しい位置を受信しました

Download Centre

No connection to service



CLEANZONE®



AUTO

20°C



22°C

トップビュー

ディスプレイの上部には、下方方向にドラッグすることでトップビューを表示できるタブがあります。トップビューでは、**設定**、**オーナーズマニュアル**、**プロフィール** および車両の保存済みメッセージにアクセスすることができます。

個人設定

運転者はセンターディスプレイの外観や表示情報の変更など、さまざまな個人設定を **設定** → **My Car** で設定することができます。

リモートコントロールキーと運転者プロフィールの関連付け

各キーは **設定** → **システム** → **ドライバープロフィール** で1つの運転者プロフィールに関連付けることができます。運転者プロフィールを1つ選択します(キーをプロフィール **ゲスト** に関連付けることはできません)。ホームビューが再表示されます。トップビューを下方方向に再度ドラッグし、上記の指示に従って操作を繰り返し、選択したプロフィールで **編集** を選択してから **キー接続** を選択します。関連付けられているキーを使用すると、ディスプレイ、ミラー、フロントシート、ナビゲーション*、オーディオおよびメディアシステム、言語および音声認識などの特定の要件⁷ に合わせて車両が調節されます。

Individual ドライブモード*

Hybrid、**Pure**、**Power** ドライブモードの1つに独自の変更を加えたい場合、**設定** → **ドライブモード** でそのドライブモードを有効にします。設定が完了したら、トンネルコンソールでドライブモードから **Individual** を選択します。

システム音量

システムサウンドの音量(キーボードおよびタッチ音など)を調節する/オフにする場合、**設定** → **音声** → **システム音量** の順に移動します。

⁷ 個人用設定/グローバル設定の区別については、オーナーズマニュアルを参照してください。



運転者サポート

ボルボ車には運転者の安全運転を支援して事故を予防できる多くの機能が搭載されています。これらの機能はセンターディスプレイの機能ビューでオンにすることができます。運転者サポート機能は補助機能に過ぎません。いかなる場合でも、車両を安全に運転する責任は全面的に運転者にあります。

City Safety

City Safety⁸ は、運転者に障害物を警告灯と警告音で知らせます。衝突の危険が迫っているときに運転者が適切な時間内に反応しないと、車両に自動的にブレーキがかかります。City Safety は、例えば、車両、大型動物、歩行者またはサイクリストとの衝突の危険がある場合に、衝突の回避や運転者の支援ができます。City Safety は、エンジン始動時に自動的に起動します。

Gross Traffic Alert (GTA)*



GTA は、リバースギヤが選択されているとき、または車両が後退しているときに、車両後方の左右から近づいてくる車両について警告します。

Blind Spot Information (BLIS)*



BLIS は、死角にある車両や、左右の車線から急接近してくる車両について知らせます。

Lane Keeping Aid (LKA)*



車両が車線境界線を越えそうになると、レーンアシストの LKA が車両を車線内に戻す操作を積極的に支援します。運転者は警告音またはステアリングホイールの振動により警告されることもあります。

車線から逸脱した場合の LKA の警告方法に関する設定は、センターディスプレイのトップビューの **設定** で行います。My Car → IntelliSafe → **レーン・アシスタンス** を選択します。ここでは、道路から逸脱する危険があるときにさらなる支援を行う Run-off Mitigation*をオン/オフにす

⁸ 一部の市場では利用できません。

ることもできます。その場合、車両のステアリング操作とブレーキ操作が自動的に行われます。

Pilot Assist

Pilot Assist は、車両を車線内に維持し、前方の車両との車間距離をあらかじめ設定された距離に維持するよう支援します。

Pilot Assist の選択および起動には、左側のステアリングリモコンを使用します。ステアリングアシストが機能するには、運転者が両手をステアリングホイールに置いていることや、車線境界線が視認できることなどが必要です。

ステアリングアシストが作動しているときには、ドライバーディスプレイに緑色のステアリングホイールシンボルが表示されます。



パークアシスト

Park Assist Pilot*

パークアシスト・パイロットは利用可能な駐車スペースをスキャンし、車両を操舵してスペース内に誘導します。運転者は車両周辺に注意しながら、センターディスプレイの指示に従ってギヤの選択、速度の制御、ブレーキ/停止の操作を行います。

Park Assist Pilot による駐車



1. 機能ビューの **駐車スペースに入れる** ボタンをタップします。20 km/h 以下の速度で走行してください。駐車スペースを探しているときは車両と駐車スペースとの間に約 1 m の距離が必要です。
2. 適切な駐車スペースが見つかったことを示す画像およびテキストがセンターディスプレイに表示されたら、停車します。ポップアップウィンドウが表示されます。
3. センターディスプレイに表示される指示に従います。センターディスプレイの情報で停車を指示されたときにすぐに停車できるように備えておきます。

駐車スペースから出る

この機能は縦列駐車をした車両にのみ使用できます。



1. 機能ビューの **駐車スペースから出る** ボタンをタップします。
2. センターディスプレイに表示される指示に従います。

パークアシスト・カメラ*



パークアシスト・カメラは、カメラの画像とセンターディスプレイのグラフィックを使用して、車両周辺の障害物を監視し、運転者を支援します。カメラ画像およびガイドラインはセンターディスプレイで選択します。パークアシスト・カメラは、リバースギヤを選択したときに自動的に起動させることができます。この設定は、センターディスプレイのトップビューの **設定** で行います。

- My Car → パークアシスト → リバースカメラ自動起動 を選択します。

パークアシスト・カメラは手動で起動することもできます。

- 機能ビューの **カメラ** アイコンをタップして機能をオン/オフにします。



さらにクリーンに走る喜びを

運転の準備をして燃料効率のよい運転をすると、電気走行での走行可能距離を伸ばすことができると同時に、環境への影響を軽減することができます。走行可能な距離を最大限に伸ばすための条件は、車両の走行するさまざまな状況および条件により異なります。運転者自身が影響を与えることのできる要因もあれば、そうではない要因もあります。最長の走行可能距離は、すべての要因がプラスに作用する非常に好ましい状況のときに達成されます。

必ず以下のことを実行して、運転の準備をしてください。

- 出発前に車両を充電する。
- 車両のプリコンディショニングを行う。

燃料効率のよい運転をするには：

- **Pure** ドライブモードをオンにします。
- 一定速度で走行し、他の車両や障害物との距離を十分に確保して、ブレーキ操作を最小限に抑えます。
- 電気走行での走行可能距離を超える道程を移動しているときには、高速走行時に機能ビューで **ホールド** を選択します。
- 適切なタイヤ空気圧で走行し、定期的にタイヤ空気圧を点検します。ECO タイヤ空気圧を選択すると、最良の結果が得られます。
- 走行中はウインドを閉めておきます。

運転者が影響を与えることのできない要因

- 交通状況
- 道路の状態および地形
- 外気温および向かい風

走行可能距離および燃料効率のよい運転のヒントについては、オーナーズマニュアルを参照してください。

特別なメッセージ

オーナーズマニュアルおよびその他のマニュアルには、安全に関するインストラクションが含まれています。必ずすべての警告、重要情報、注意事項をお読みください。一部の機能は、特定の市場でのみご利用いただけます。



警告

はじめに

Sensus Navigation*: つねに道路状況に目を配り、走行に集中してください。交通法規を順守し、的確な状況判断で運転してください。道路条件および気象条件により、一部の推奨情報については信頼性が低下するおそれがあります。

エクステリア概要

開閉時に挟み込まれることがないように十分ご注意ください。深刻な被害をもたらすことがあるため、開閉前にはテールゲートの側に人がいないことを確認してください。テールゲートの操作は、つねに慎重に行ってください。

インテリア概要

車両に助手席側エアバッグのオン/オフスイッチが装備されていない場合、エアバッグはつねに作動可能な状態です。エアバッグが作動可能な状態のときは、絶対にお子様を助手席のプースタクッション、チャイルドシートまたは後ろ向き装着のチャイルドシートに座らせないでください。助手席側エアバッグが作動可能な状態のときは、身長が140 cm未満の乗員を助手席に絶対に座らせないでください。助手席側エアバッグの作動を解除している場合は、身長が140 cm以上の乗員を助手席に絶対に座らせないでください。ルーフコンソールにエアバッグ非作動のメッセージが表示され、ドライバースペイのエアバッグシステム警告灯も点灯しているときは、絶対に助手席に誰も座らせないでください。重大な故障が発生しているおそれがあります。すみやかに、サービス工場で点検を受けてください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

インテリア概要

車両から離れる際は、必ずリモートコントロールキーを携帯し、車両がイグニッションモード0 になっていることを確認してください。

インテリア概要

坂道に駐車する際には、必ずパーキングブレーキを使用してください。オートマチック車両では、ギヤまたは P に入れておくだけでは不十分な場合があります。

充電

充電ケーブルに少しでも損傷がある場合、そのケーブルは使用しないでください。感電や大ケガをする危険があります。損傷や不具合のある充電ケーブルの修理は、必ずサービス工場にご依頼ください。ボルボ指定のサービス工場をお薦めします。

- ハイブリッドバッテリーは必ず 200V 電源コンセント/プラグからのハイブリッド充電に関する適用法令、および国の推奨に従って、最大許容充電電流以下で充電を行う必要があります。
- 充電は、接地された認可済み 200V 電源コンセント、またはボルボにより提供される充電ケーブル(モード 3)付き充電スタンドからのみ行ってください。
- 漏電遮断器は車両を保護しますが、200V 主電源回路にはなおも過負荷の危険があります。
- 電源コンセントに目視で確認できる摩耗または損傷がある場合、使用を避けてください。万が一使用した場合、火災やケガにつながるおそれがあります。
- 延長コードは絶対に使用しないでください。
- ハイブリッドバッテリーの充電は、接地された認可済み 200V 電源コンセントからのみ行ってください。電源コンセントまたはヒューズ回路の容量が不明な場合は、認定電気技師にお問い合わせください。電源ソケット/回路の容量を超えて充電すると、火災が発生する、またはヒューズ回路が損傷するおそれがあります。
- 充電ケーブルに少しでも損傷がある場合、そのケーブルは使用しないでください。感電や大ケガをする危険があります。損傷や不具合のある充電ケーブルの修理は、必ずサービス工場にご依頼ください。ボルボ指定のサービス工場をお薦めします。

リアシートのバックレストを倒す

バックレストを調節した場合は、正しくロックされていることを確認してください。ヘッドレストを調節した場合は、正しくロックされていることを確認してください。3 列目シート*に乗員を乗せる場合には、必ず 2 列目ドア側のシートのヘッドレストを起こす必要があります。

ステアリングホイール

音声認識車両を安全に操作し、適用されている交通規則を順守する全体的責任は、つねに運転者にあります。

車内エアコンディショナー

温度の上昇を感じることができない方やシートヒーターのコントロールを操作できない方は、シートヒーター*を使用しないようにしてください。火傷を負うおそれがあります。

車内エアコンディショナー

以下のような場所では、プリコンディショニングを使用しないでください(フューエルドリブヒーターに適用)。

- 通気性のよくない屋内の空間。ヒーターを作動させると、排気ガスが排出されます。
 - 可燃性または引火性の物が近くにある場所。燃料、ガス、長草、おがくずなどは発火するおそれがあります。
 - ヒーターの排気管が遮られるおそれのある場所。排気口は右フロントホイールハウジングにあるため、例えば、右フロントホイールハウジングの内側に雪が入ると、ヒーターの換気が妨げられる可能性があります。
- プリコンディショニングは、かなり前に設定したタイマーで開始される可能性があるため注意が必要です。

運転者サポート

BLIS および CTA は、安全運転を補助するための機能で、ドリアミラーに代わるものではありません。また、運転者の判断や責任に代わったものではありません。車線変更時や後退時の安全確認は、つねに運転者の責任です。BLIS は、急カーブの走行時や後退時には機能しません。

運転者サポート

レーアシスト LKA および Run-off Mitigation は支援機能に過ぎません。走行状況や交通、天候、路面の状態などにより作動し

ないことがあります。安全運転を行い、適用されている法律や交通規則に従う責任は、つねに運転者にあります。この機能は路肩にある防護柵、欄干などの障害物を検知することができません。

運転者サポート

City Safety は支援機能に過ぎません。走行状況や交通、天候、路面の状態などにより作動しない場合があります。この機能は、あらゆる状況ですべての歩行者やサイクリストを検知できるわけではありません。衝突の危険が高くなったときにはのみ、警告が出ます。歩行者およびサイクリストに対する警告およびブレーキ介入は、車速が 70 km/h (43 mph) を超えるとき解除されます。City Safety 用オートブレーキ機能は、衝突事故を回避、または衝突速度を低下させることができます。ブレーキの全性能を十分に発揮できるように、たとえ車両にオートブレーキがかかっている場合でも、運転者はブレーキペダルを踏み込むように入ってください。走行中に適切な車間距離や速度を維持することは運転者の責任です。

運転者サポート

Pilot Assist は支援機能に過ぎません。すべての交通状況、天候および路面の状態に対応できるものではありません。車両の運転方法における責任はつねに運転者であり、Pilot Assist が適切な速度や車間距離、またはステアリングアシスタントを提供しない場合は、介入する必要があります。Pilot Assist は車線の左右どちらかの路面に明確な車線境界線が塗装されている場合にのみ使用できます。Pilot Assist は人物、動物、障害物、小型/低車高のトラクター、対向車、低速で走行するまたは停止している車両に対してはブレーキをかけません。Pilot Assist は、市街地、ジャンクション、曲がりかねた道路、悪天候条件下などでは使用しないでください。

パークアシスト

Park Assist Pilot はあらゆる状況で作動するわけではなく、補助機能に過ぎません。車両を安全に運転し、駐車中、周囲の状況や接近または通過する他の道路使用者に注意を払う最終責任はつねに運転者にあります。

パークアシスト

パーキングカメラは補助装置であり、運転者の責任にとって代わるものではありません。カメラには死角があり、すべての物体を検知することはできません。車両のそばに人間やペットなどいる場合がありますので、十分にご注意ください。

！ 重要

インテリア概要

トレーラーコネクタのないトレーラーを接続して走行する際には、**OFF ROAD** ドライブモードを使用しないでください。この指示に従わないと、エアバロースを損傷する可能性があります。

インテリア概要

ヘッドアップディスプレイユニット*はメーター・パネルに配置されています。このユニットから情報が映し出されます。ディスプレイユニットのカバーガラスの損傷を防止するため、カバーガラスの上にはなにも置かないでください。また、カバーガラスに物を落とさないように注意してください。

センターディスプレイ

センターディスプレイのクリーニングに使用するマイクロファイバークロスに、砂などが付着していないことを確認してください。砂などによってスクリーンに傷がつくおそれがあります。センターディスプレイを清掃する場合、ディスプレイを強く押さないように注意してください。強い力がかかると、ディスプレイが損傷するおそれがあります。

センターディスプレイには液体または腐食性の化学薬品を直接スプレーしないでください。ウインドクリナー、その他の洗剤、エアゾールスプレー、溶剤、アルコール、アンモニア、または研磨剤入りの洗剤は使用しないでください。研磨布、ペーパータオルまたはティッシュペーパーは絶対に使用しないでください。センターディスプレイに傷がつくおそれがあります。

充電

落雷の危険がある場合、絶対に充電ケーブルを接続しないでください。絶対に、充電中に充電ケーブルを 200V 電源コンセントから抜かない

でください。200V 電源コンセントを損傷する危険があります。必ず充電を停止してから充電ケーブルを抜いてください。まず車両の充電ポートから抜き、次に 200V 電源コンセントから抜きます。この手順に従うことにより、システムを損傷したり誤って充電を停止したりすることを防ぎます。漏電遮断器は、200V 電源コンセント/電気設備を保護しません。

充電ケーブルおよび充電ケーブル関連パーツを水に浸さないでください。充電ケーブルおよびそのプラグは、直射日光の当たるところに置かないでください。そのような場合、プラグの過熱保護機能がハイブリッドバッテリーの充電を抑制または中断するおそれがあります。

200V 電源コンセントに電気自動車の充電に必要な電源が供給されていることを確認してください。不確かな場合、専門の業者に電源コンセントの確認を依頼してください。

充電

電源タップ、サージ保護装置などの機器を充電ケーブルと一緒に使用しないでください。火災、感電などの原因になるおそれがあります。200V 電源コンセントと充電ケーブルとの間にアダプターを絶対に使用しないでください。

充電の確認

コントロールボックスを水に浸したり、沈めたりしないでください。コントロールボックスとそのプラグは直射日光の当たるところに置かないでください。そのような場合、プラグの過熱保護機能がハイブリッドバッテリーの充電を抑制または中断するおそれがあります。200V 電源コンセントに電気自動車の充電に必要な電源が供給されていることを確認してください。不確かな場合、専門の業者に電源コンセントの確認を依頼してください。電源コンセントの電流の強さがわからない場合、コントロールボックスではもっとも低いレベルを使用してください。

リアシートのバックレストを倒す

リアシートに物がなく、だれも座っていないことを確認してください。また、シートベルトも接続しないでください。センターシートのインテグレートッド・チャイルド・クッション*/エアムレスト*は格納位置にしておく必要があります。

右側レバースイッチ

ワイパーブレードをサービスポジションにする前に、凍結していないことを確認してください。サービスポジションのワイパーアームがウィンドスクリーンから起こしてある場合には、ワイパーを始動する前に、ウィンドスクリーンの方に倒して元の位置に戻してください。これは、ボンネットの塗装に傷を付けないようにするためです。

車内エアコンディショナー

車内温度が低すぎる場合、シートベンチレーションを起動させることはできません。シートに座っていない乗員が冷えないようにするためです。

接続

トンネルコンソールの 12V 電源ソケットのひとつのみを使用する場合、電源ソケットの最大出力は 10A (120W) です。トンネルコンソールの両方の電源ソケットを同時に使用する場合には、各電源ソケットに 7.5A (90W) の制限が適用されます。トランクルーム/カークロスの 12V 電源ソケットの最大出力は 10A (120W) です。200V 電源ソケットの最大出力は、150W です。

① 注意

エクステリア概要

電磁場および電磁遮蔽は、リモートコントロールキーの機能を妨げるおそれがあります。リモートコントロールキーを金属物や電子機器（携帯電話機、タブレット、ノートパソコン、充電器などの近くに保管することは避けてください。必ず 10~15 cm 以上離れた場所に保管してください。

エクステリア概要

パワーテールゲート：システムが長時間継続して作動していた場合には、過重負担を避けるためオフになります。約 2 分が経過すると、再び使用可能になります。リアバンパーに大量の水、雪、汚れなどが付着していると、機能が低下したり、まったく動作しなくなったりすることがあります。このため、つねにきれいな状態に保つようにしてください。

インテリア概要

Off Road ドライブモードは一般道で使用するためには設計されていません。

インテリア概要

外気温に関わらず、冷間時の始動後はアイドリングスピードが高くなります。これは、ボルボの高効率エミッションシステムによるものです。

インテリア概要

Forward Collision Warning* がオンになると、ヘッドアップディスプレイの情報が Forward Collision Warning* のグラフィック表示に変更されます。このグラフィックは、ヘッドアップディスプレイがオフの場合でも点灯します。偏光サングラスを着用している場合、シートの中央に座っていない場合、ディスプレイユニットのカバーガラスに物が置かれている場合、光条件が適切ではない場合などには、ヘッドアップディスプレイが見えにくくなります。

視覚障害をお持ちの場合、ヘッドアップディスプレイの使用中に頭痛やストレスを感じる場合があります。

充電

SAE J1772 に準拠し、温度モニタリングに対応しているボルボ推奨の充電ケーブルを使用してください。

充電

200V 電源コンセントへ接続されたケーブルを抜く前に、必ず車両のロックを解除して充電を停止してください。

充電

充電ケーブルは、最後の充電電流の設定を記憶しています。したがって、次の充電時に別の 200V 電源コンセントを使用する場合、設定を調整する必要があります。

スペアリングホイール

走行方法が変わった場合には、走行距離の計算に誤差が生じる場合があります。

車内エアコンディショナー

希望する温度より高い温度または低い温度にセットしても、希望した温度に達するまでの時間が早まることはありません。

車内エアコンディショナー

プリコンディショニングは、車両が電源コンセントに接続されている場合にのみ使用可能です（電気ヒーターに適用）。つねにオンになっていない充電スタンド（例：タイマー設定）は、プリコンディショニングに不具合を引き起こす可能

性があります。車両が電源ソケットに接続されていない場合でも、プリコンディショニングを直接作動させることにより、暖かい気候条件下で短時間の車内の冷房ができます。車内のプリコンディショニング中はドアや窓を閉めてください。

接続

データはインターネット使用時に転送され（データ通信）、費用が発生する場合があります。データローミングおよび Wi-Fi ホットスポットを有効にすると、追加費用が発生する場合があります。データ通信費用については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。携帯電話を使用してダウンロードする際は、データのダウンロードにかかる費用に注意してください。

接続

ボルボは、Apple CarPlay/Android Auto アプリのコンテンツは確認しません。Apple CarPlay は、Bluetooth が無効になっているときのみ使用できます。したがって、Bluetooth で車両に接続されている電話またはメディアプレーヤーは、CarPlay/Android Auto の使用中には利用できなくなります。車両を接続するには、Wi-Fi または車載モデム*を使用してください。

接続

電話のオペレーティングシステムがアップデートされると、ペアリングが中断される場合があります。この場合、いったん車両から電話を削除し、ペアリングをやり直してください。

接続

データダウンロードは、データを送信するその他のサービス（インターネットラジオなど）に影響をおよぼすおそれがあります。その他のサービスに悪影響をおよぼす場合、ダウンロードは中断することができます。その他のサービスをオフにする、または中断する方が適切な場合もあります。

接続

車両との接続が切断されると、一部の電話機はテザリングがオフになります。したがって、次の使用時には電話機のテザリングを再度有効にする必要があります。

パークアシスト

もっとも効率的に作動するように、カメラのレンズに泥や雪、氷が付着していないように気を

つけてください。これは暗いときには特に重要です。

